

# 議会報告会報告書

平成28年2月8日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

C班

代表 中島好人

平成28年第1回議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成28年 2月 1 日 ( 月 ) 19時 ~ 20時30分

### 2 開催場所

須恵公民館

---

### 3 参加人数 (市民)

7 人

---

### 4 担当班議員名

( 三浦英統 ) ( 中島好人 ) ( 岩本信子 ) ( 中村博行 )  
( 伊藤 實 ) ( 岡山 明 ) ( ) ( )

### 5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 政策提言及び理科大報告

- ① 総務文教常任委員会 ( 中島好人 ) [司会] ( 三浦英統 )
- ② 民生福祉常任委員会 ( 岩本信子 ) [記録] ( 岡山 明 )
- ③ 産業建設常任委員会 ( 中村博行 ) [受付] ( 岡山 明 )
- ④ 山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会 ( 伊藤 實 )

(3) 質疑応答

## 6 主な質問・意見・提言

- ① 大学の公立化に伴い、建設費、運営費用等は、大丈夫か？市に負担はかからないか。

[回 答]

私立大学では定員割れをしていたが、昨年公立化の発表後受験者が約1400名、合格者約360名。今回は定員200名に対し、現時点で約3300名の受験者数となっている。今後定員割れをおこななければ、市の負担は無いと思われる。

最高の研究環境の中で、教授陣の体制をしっかりと整えていく。そのことで、優秀な生徒を呼び込む、この教育体制の好循環を図る事が今後の課題である。

- ② 大学の公立化が進められた理由は何か。

[回 答]

工学部に加え薬学部を設置することで、公立化の可能性が出てきた。さらに、地方創生の流れの中で公立化の推進が図られた。

- ③ 大学に対し、国からの財政措置が施されるが、すべて税金である。市としてのメリットはあるのか。

[回 答]

山口東京理科大学の公立化、さらに薬学部設置という千載一遇のチャンスを得た。これを好機と捉え、まちづくりの活性化の柱にして事業展開を図る。

- ④ 医薬技術は日進月歩で進んでいる、薬学部教授陣の体制を整える必要があるが大丈夫か。

[回 答]

最新の研究施設、環境を整えていく、教授陣の満足いく体制を整える。

### ○ 意見

若者交流推進事業に対する実りが少ない。

若者に婚活への世話をやく人材・人脈が必要である。婚活網のネットワークを推進する上で、地域の力を生かす、老人会等の活用はどうか。